

# 厚木市立病院・地域連携通信



「あつめぎたより」は厚木市立病院から医療機関のみなさまにがんに関するお知らせをするお便りです。

## 感染症指定病院の今・・・

当院では現在も新型コロナウイルス感染症の治療にあたっています。第6波に向け準備を整えています。その中で多くのがん患者さんから治療に対する不安の声が聞かれているのも確かです。がんと診断され、治療に臨まれている患者さんたちを病院全体でサポートしていくため全力でサポートしています。

①がん治療にあたる各科の医師・看護師などの医療スタッフ、②緩和ケアチーム、③緩和支持外来、④がん相談支援センターではがん患者さんの声を聞きながら、治療にまつわる新型コロナ感染対策についての情報をお伝えし、安心して治療を継続できるように支援しています。

## 「がんサロン・つくしんぼカフェ」のご案内

当院医療スタッフを中心に、がんサバイバーを対象としたがんサロンをOPENしています。

日時：2022年2月2日（水）14：00～15：00

場所：当院院内食堂

テーマ：「コロナ対策・アップデート～最近のコロナ対策事情」

当院外科の渡部医師よりがん患者さんが安心して治療に臨めるような情報をお伝えしていく予定です。参加をご希望される患者さん・ご家族にぜひご案内をお願いします。

次回は4/27（水）に開催予定です。次年度の年間予定についても当院HPにアップする予定です。



当院における  
「神奈川医療連携手帳」  
(がん地域連携クリティカルパス)  
の運用状況

前回に引き続き、がん地域連携クリティカルパスのご案内です。胃癌、大腸癌、肝癌、乳癌、肺癌の術後が対象です。術後の経過観察を当院とかかりつけの医療機関の両方で診てゆくものです。CTなど大きな検査は当院で、腫瘍マーカー採血や場合により内視鏡検査はかかりつけでというものです。実際は3か月ごとに交互に診ることになります。左写真の冊子に両方でそれぞれ検査の結果を記入し、それを患者さんに保管してもらいます。それぞれの医療機関で互いの検査結果がわかります。

ご賛同いただける施設におきましては、患者さんの状況により連携パスの使用をお願いすることがあります。

また9/1～緩和ケア地域連携パスの運用も開始しています。合わせてよろしく申し上げます。

## 薬剤師のつぶやき

当院ではがん悪液質に対するグレリン様作用をもつ「エドルミズ」の使用を開始しました。効果・効能は非小細胞肺癌、胃癌、膵癌、大腸癌のがん悪液質患者さんを対象とした臨床試験において、12週間「エドルミズ」を服用した患者さんで食欲を増進させる傾向が認められています。筋肉量の維持・増加が認められた患者さんは63%との結果も認められています。有効利用につなげていきたいですね。

<グレリンってなに？>

グレリンは、食欲と体作りに関わるホルモンです。空腹になると、主に胃から分泌されて脳に作用し、食欲を高めます。また、成長ホルモンの分泌を促し、筋肉をはじめとする身体のさまざまな組織や器官がつくられるようになります。

緩和ケアチームでは、内服だけでなく、食欲不振や体重減少について日常生活の工夫についてもお伝えしています

## 「緩和ケア研修会」についてのご案内

2022年6月26日（日）に当院で緩和ケア研修会（PEACE PROJECT）を開催します。

地域の医師や看護師など医療従事者のみなさまも対象となりますので、ぜひご参加ください。詳細は後日当院HPでご案内いたします。



## がん相談支援センターより

<フレイルについて>

加齢や疾患によって身体的・精神的なさまざまな機能が徐々に衰え、心身のストレスに脆弱になった状態のことです。特に高齢者は慢性疾患やがんなどの病気を抱えているケースが多く、心身機能の低下と相まって生活機能が落ちたり、心身の脆弱性が加速されたりする危険性が高いことが知られています。一方でフレイルは完全に介護が必要な状態ではなく、適切な生活改善や治療などを行っていくことで生活機能が以前の状態に改善する可能性があります。フレイルを引き起こす原因は、“身体”“心や認知”“社会性”の3つに分けられます。フレイルの特徴はその原因が重なることでさらに状態が悪化していくことで、心身の衰えにより外出が億劫になることで引きこもりがちな生活になり、それが社会性の低下を引き起こします。引きこもりがちな生活が続くことでさらに身体機能や認知機能が低下することにもつながり、心身の機能がどんどん衰えていくという負のスパイラルに陥るのです。患者さん・ご家族との関わりの中で、このような患者さんのサインを見逃さないようにしていきたいと思っています。

来年もよろしく  
お願い  
します。

本誌に関するお問い合わせはこちらまでお願いいたします。

編集・発行／厚木市立病院 緩和ケアチーム 担当：渡部、小高

電話：046-221-1570（代） FAX：046-222-7836

